

## 発刊にあたりて

佐呂間町郷土研究会長 山内春芳

佐呂間町は、平成六年に、開基百年を迎えその年の秋、記念式典を挙げることを承っております。顧みますと、明治二七年に、鈴木甚五郎氏が、本町浜佐呂間の地に入植されたのが、本町開拓の始まりですが、開拓当時は鬱蒼たる山林原野であつたが、それを切り開き以て、文化の薫り高い本町の礎を作られ、数多くの開拓の先駆者の方々の、ご苦勞に感謝しているところであります。

町当局におかれましては、百年を記念し、各種の記念事業を行っております。その一つとして、「佐呂間町百年史」の発刊が計画されていますが、開基から百年の長い歴史を、詳しく記述する中に、漏れて行く物語や、頁紙数の関係で省略されるものなどを、私ども同志が図って、佐呂間郷土史研究会を発足し、町内の古老などを訪れ、聞き取りに協力を得て調査を重ね、町百年史に詳しく書かれ無い様なものの特異なものに重点をおいて、記述し後世に残したいと想い本誌の発刊を計画しました。

何分にも、開拓の歴史を知る先輩達数少ない中に、大事な記述漏れが多々あるかと存じますが、私共の意のあるところをお汲み取り下さいましてお笑納くださる様お願いして、発刊のご挨拶と致します。

## 「さろまむかしむかし」の発刊にあたり

佐呂間町長 堀 次郎

この度、郷土研究会の皆さんのご努力によって、佐呂間町開基一〇〇年を記念し、「さろまむかしむかし」が発刊されました。

郷土研究会の皆さんは、日頃より多方面において活動しておられ、特に本町の生い立ちの歴史、今日までの様々な出来事、さらに、それぞれの事柄に拘った人たちの、足跡や、人物像などを正しく記録に残し、後世に伝えるべく努力しておられることには、常日頃より敬意を表していたところであります。研究会のメンバーの中には、開基一〇〇年事業の中でも、最も大変な事業の一つであります町史の編纂にも、協力を願っているところでもあります。今回、「さろまむかしむかし」の発刊に当たっては、きつと、歴史に記載できないようなソフトな面を、町民の皆さんに、何らかの手法で伝えたいということもあつたのではと思われれます。

例えば、本町開拓の先達者と言われております鈴木甚五郎さんは、どんな人物であつたのか、また、それぞれの地域に入植し、活躍されたある人は、こんな一面があつたなど、誰しもが少しは覗いてみたいところ、また、知りたいところがあるのではないのでしょうか？

郷土研究会の皆さんは、そんなところを、持ち前の努力と文才、そしてユーモアを交え、ある面では、町史の解説本的なものとして、「さろまむかしむかし」を仕上げ、私たちに楽しく佐呂間史を、ひもといてくれることと思います。最後になりましたが、本誌の完成までの、ご苦勞に対して、心より敬意と感謝を申し上げます。